

【様式 1】

① 食育月間の取組

<p>提出都道府県名 政令指定都市名</p>	<p>北九州市</p>
<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>中原保育園</p>
<p>取組の名称</p>	<p>食品ロスなくそう</p>
<p>実施時期</p>	<p>6月5日、6月17日～6月22日、</p>
<p>取組内容に該当する 食育ピクトグラム</p>	
<p>取組内容</p> <p>目的『食品ロスをなくそう』</p> <p>① 6月5日 対象 全クラス (100名・保護者へ)</p> <p>② 6月28日 対象 ぞうぐみ (21名)</p>   	<p>①『食品ロス』を題材に食育だよりを全園児に配布しました。園だけでなく各家庭でも一緒に食品ロスについて取り組みやすいポイントとして「必要な分だけ買う」「食べきれぬ量を知る」「余った食材は別の料理に活用する」などをわかりやすく伝えました。送迎時に保護者より各家庭でもそれぞれ配慮して下さっている事も聞く事ができました。</p> <p>②6月17日～6月22日の1週間、毎日どれ位食べ残しがあるのか、残食を記録しました。子ども達に、残食の重さを体験してもらう為に、1番残食の多かった日と1番少なかった日の重さを粘土2kgの塊と400gの塊2種類を作り、実際に持ってもらいました。「おもたーい」などと感想を聞きながらその差を感じてもらいました。「これが中原保育園のみんなの残している給食の重さです。」と説明をし、2kgが食べ物でどの位なのかをわかりやすい様にご飯を20杯用意して見せ「これと同じ位の食べ物を毎日捨てている事になるんだよ」と伝え「もったいない」「まだ食べられるのに」と子ども達も、もったいない事、残食はしない方がいいという事に気付いたようでした。その後、紙芝居「ありがとうごはんつぶマン」を見ると「好き嫌いしない方がいい」と苦手な物でも少しずつ頑張ってみようという意識が芽生えてきたようです。しかし「どうしても苦手な物がある時や、食べられそうにない時はどうしたらいい？」と問いかけると、全部食べなくてはという意識が強かったのですが「最初に食べれる分だけに減らしてもらったらいね！そうすればピカピカのお皿に近づくんね！」と最後は一緒に考えることが出来ました。これからまた給食を作る人、野菜やお米を作る人などへの感謝の気持ちが芽生えるように、絵本や栽培活動などを通して働きかけをしていこうと思います。</p>